



大阪府立豊中高等学校能勢分校  
令和4年度 課題探究GS 最終発表会

令和4年12月22日(木)  
浄るりシアター 小ホール

＊＊ホール後方にて今年度の取組みを展示しておりますので、是非ご覧ください＊＊

9:30 開会  
准校長挨拶・来賓紹介

9:40 前半 4グループ発表

1. 【探究コース】  
里山保全活動をより多くのひとへ ～YouTube ショートバズらせ隊～
2. 【食農流通コース】  
捕獲された鹿肉の有効活用
3. 【食農流通コース】  
ドローンを活用した地域農業への貢献
4. 【地域活性コース】  
のせモンカード ～能勢の自然・文化・環境・産物を発信～

10:40 休 憩 (15分間)

10:55 後半 3グループ発表

5. 【地域活性コース】  
のせむすび掲載への『果てしない』道のり ～俺たちの軌跡～
6. 【対人支援コース】  
老若男女問わず地域の関わりを  
～レクリエーションを通して交流を深める～
7. 【対人支援コース】  
手話 ～言葉には頼らない～

11:40 講評 大阪公立大学 伊井 直比呂 教授

11:50 謝辞・閉会

# 令和4年度 課題探究GS 最終発表会 発表概要

発表順	系列・学習群	発表タイトル	概要	関連するSDGs
1	探究班	里山保全活動をより多くのひとへ ～YouTubeショートバズらせ隊～	私たちは「里山保全問題」に関する課題探究に取り組んできました。大阪みどりのトラスト協会さん協力のもと、三草山にて、石畳み作りや下刈りなどの保全活動を行いました。また、多くの人に里山保全のことを知ってもらうため、そのときの様子を「YouTubeショート」を用いて発信しました。	
2	食農1班	捕獲された鹿肉の有効活用	私達のテーマは鹿肉の有効利用です。能勢町内や農場で害獣による農作物の被害があったことをきっかけに、なかでも被害の多い鹿について調べてみることにしました。実際、被害の対策で捕獲、屠殺された鹿肉のほとんどが捨てられています。そこで私達は実態調査をしたり、今後その鹿肉を使いジビエ肉の加工品を作り、能勢の特産品として活用すれば地域の発展につながると思い、誰でも美味しく食べられるような鹿肉ソーセージの製造について研究しました。	
3	食農2班	ドローンを活用した地域農業への貢献	JA共済様よりご寄贈いただいた産業用ドローン DJI P4Mを活用し、水田やクリ園の生育調査を行いました。農場の水田をはじめ、秋鹿酒造さんや地域の方々にも協力していただき、様々なお米の特徴を調査しました。ドローンで上空から撮影し、画像分析することで作物の健康状態や肥料養分の分布状況などがわかります。これらの結果からどんな生育環境だったのかなど自分たちで考察しました。この取組みをきっかけに沢山の人間にドローンを活用したスマート農業を知っていただけたらと思います。	
4	地活1班	のせモンカード ～能勢の自然・文化・環境・産物を発信～	能勢町の特産品や地区などを多くの人に知ってほしい。と思ったので私たちは、どの年代でも遊べるようなカードゲーム発案し、楽しく遊んでもらおうと考えました。そこで様々なカードゲームを参考にし、試行錯誤を重ねて出来たのせオリジナルのゲームを作ることができました。	
5	地活2班	のせむすび掲載への『果てしない』道のり ～俺たちの軌跡～	能勢町の魅力を紹介するために能勢町役場と協力し、『のせむすび』という能勢の情報誌に「新しい”お気に入り”を能勢で探す！！」というテーマで作った1ページを掲載させてもらうことになりました！紹介する場所は「①キャンプ場 ②ノセボックス ③フジコン ④いちご狩り」の4箇所です！（詳細は私達の発表を御覧ください）	
6	対人1班	老若男女問わず地域の関わりを ～レクリエーションを通して交流を深める～	私達は、能勢町の人々の関わりを増やすために行った活動について話します。きっかけは自分たちの周りのイベントが減ってきていた事です。実際にした活動は、いろんな世代の人が関われるレクリエーションです。このレクリエーションを機に、活動以外のところでもいろんな人達が仲よく話せるようにしたいと思いました。最後にこのような活動があったほうがいいのかなどのアンケートを実施しました。	 
7	対人2班	手話～言葉には頼らない～	私達のテーマは、手話です。手話とは、耳や口の不自由な人が手を用いて表現する伝え方です。能勢には難聴者がいるのに手話通訳者が3.4人しかいない事がわかりました。手話を能勢町に広めるために、探求をしていましたが能勢町全体に広めるには難しかったので、まずは小学五年生に授業を行いました。授業をきっかけに手話を知ってもらうことができました。	 